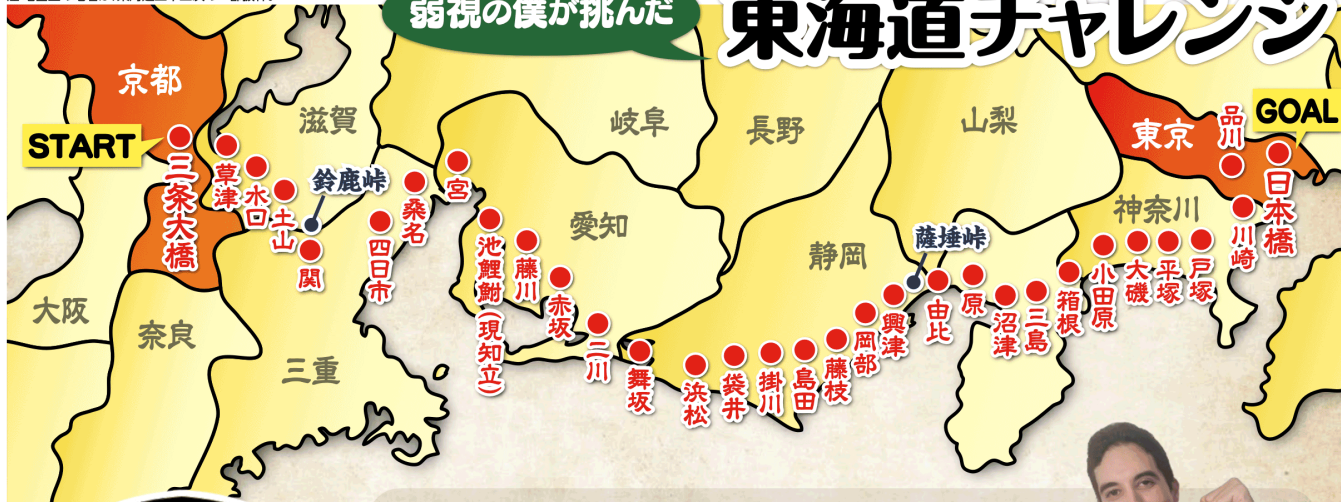


注:地図上の地名は、東海道五十三次の一部抜粋。

弱視の僕が挑んだ

# 東海道チャレンジ



新年明けましておめでとうございます!  
 Youtubeチャンネル・日刊サンプレゼント「マネー爆弾」でお馴染みのトニー・ドット・ベガです。

去年僕は、京都ー東京間(およそ500キロメートル)を歩くという、かなりぶつとんだことを企画しました。その名も「東海道チャレンジ」!! そう、僕は、かの有名な、あの「東海道」を29日間かけて歩いたのです。

始まりは2023年9月20日。ホノルル空港から出発して、関西空港に到着しました。夕方に到着したので、その日は新大阪のホテルに泊まりました。翌日21日、いよいよ僕の長旅の始まり。スタート地点は京都の「**三条大橋**」です。実は三条大橋は旧東海道の終点。本来は日本橋が起点だけど、僕は逆方向から歩くことにしました。東からでも西からでも東海道の500キロは変わらないから、そこはあまりこだわらず行こうと思います(笑)。



**トニー・ドット・ベガ**  
 ハワイ在住のライター、コンテンツクリエイター、マーケティングアドバイザー、NFTプロデューサー、MAJISONクリエイター

## DAY1:三条大橋からスタート!

旅の話始める前に、まず最初にみんなに説明しておくことがあります。

実は、僕は「弱視」。目があまり見えません。普通の大きさの字、人の顔、看板、道路標識、目印、ほとんどの場合見えないのです。外で歩く時は、「**白杖**」を使います。

東海道を歩くのに普通はどれぐらいかかるのかを調べると、だいたい21日間ぐらいだそうです。でも、僕の場合、それは無理だろうとあらかじめわかっていました。もちろん体力によって速く歩く人、遅く歩く人もいるでしょう。でも、それより僕の問題はやっぱり視力。そのせいで絶対に道に迷うだろうと予測していました。

実際にやはり道に迷うことが何度もありました。同じ日に何度も迷ってしまっ、本来なら歩かなくてもよかった数キロを歩くはめになったケースも。案内標識が見えないから、スマートフォンを使って「**グーグルマップ**」に頼るしかありません。グーグルマップは、とても便利だけど、たまにとてもやこしい道や歩いてはいけないようなところに案内されることもあります。

そのような状況で、大変だったこと、嬉しかったこと、たくさんありました。簡単だけど、そんなエピソードをいくつか紹介します。



▲僕のフォロワーさんが一緒にスタートをきってくれました

## DAY3:水口の国道1号線。歩道がほとんどない道

そして三日目のことです。朝、滋賀県の**水口**から出発して、その日のゴールは三重県にある東海道五十三次のひとつ「**関宿**」。グーグルによると距離は26.9キロ。僕は大体1日20キロ前後進むことを目指していたから26.9キロは長い方。でも、ただ長距離というだけじゃなくて、その間に東海道の難所のひとつと言われる「**鈴鹿峠**」がありました。

もちろん、できれば歩きたかったけど、そういう山道を、目があまり見えない弱視の僕一人で歩くのはかなり危険。当然、危険すぎるところは回避してはいけないので、別のルートに行くことにしました。

しかしその道にもトンネルがあり、もしかしたらまた歩行者禁止かもしれないという、新たな心配が浮上。結局どうすればいいかわからないまま、三日目の朝、水口から国道1号線を数キロ歩き始めました。

歩道がないトラックがよく通るような田舎の道。店も少なくてすごく不安…。でも途中で何かの建物を見つけました。僕には看板が見えないから、なんのお店がよくわからないままそこに入って(おそらく車の修理屋さんだったと思う)、お店の人にトンネルのことを聞いてみました。

お店の人によると、「そのトンネルは危ないから歩かない方がいい」とのこと。どうしても危険な場所は、僕はタクシーなどに頼ることにしています。残念だけど、安全第一!!これが一番大事なことです。

お店の人の助言によって、とりあえず「道の駅・あいの土山」に向かえばいいことがわかりました。そこまで行けばタクシーを呼ぶか、または誰かに車に乗せてもらえる可能性もあります。

おそろく1時間ちょっと歩いて無事に「道の駅・あいの土山」に到着。その店員さんに状況を説明してタクシー会社の電話番号を聞くことができたので、タクシーを呼んで、この日の目的地、**関宿**に行くことができました。タクシーに乗ったのは、たったの数キロだったけど、残念だけど危険回避のため、タクシーに乗ったことは正解でした。



▲タクシーに乗って危険を回避。優しい「サムライ」が、東海道を歩く僕を、「馬」にのせてくれた!? (笑)

「東海道チャレンジ」初日、はりきって**三条大橋**を出発してから数キロの地点でのことです。そこには、歩行者通行禁止のトンネルがありました。僕は旧東海道ではなく、主に国道1号線や大きい道を歩いていました。なぜかというグーグルマップにそう案内されたから…。でもそのせいで、歩行者が通ってはいけないというのを知らずにそのトンネル歩いてしまいました。歩道がなかったから車道を…。もちろん、車は避けてくれたので、怖かったけど無事にトンネルを抜けることはできました。



▲問題のトンネルの入り口に歩行者通行禁止の標識が!!でも弱視の僕には、この標識が見えなかった…

が、しかし!トンネルをぬけてしばらくしてから、2人の警察官が僕のところにやってきて、「あなたさっき、トンネルを歩いて通ったよね?」と聞かれました。警察に止められるまで、そのトンネルが歩行者通行禁止だったことを知らなかった僕は、びっくりして状況を説明しました。警察官には、僕が弱視で東海道を歩いていることに驚かれましたが、「気を付けてくださいね」と注意されただけで許してもらえました。初日から逮捕はされなくてよかった!! (笑)

いきなり警察に止められはしたけど、その日の目標地点、滋賀県の**草津**に、無事に向かうことができたのでした。



「東海道チャレンジ」中、ほぼ毎日こんな感じでした。それは、タクシーに乗らないといけないとかそういう意味ではなく、毎日、毎日、何かしらの問題が発生し、それをなんとか解決しなければいけなかったということです。



DAY10:足に水ぶくれができたので、今日はお休み ▶

たとえば**四日市**では、すごく不便な場所にあるホテルに泊まったせいで、食事を調達できずに夕飯が食べられなかったり、買った時は大丈夫だった靴も実際はサイズが小さすぎて、愛知県の後半あたりから静岡の**浜松**辺りで、水膨れができて左足の小指がすごく痛くなり、靴を新調しなくてはいけなくなったり…。

また、静岡県の**三島**では、派手に転んでしまって、手と膝を強く打って流血!! とにかく色々なことが起こりました。

◀DAY22:沼津から三島へ。転んだけど大丈夫

▲DAY11:新しい靴を買って心機一新

そして日程の制限。一般的な徒歩の場合、予測日程は21日間だけど、それは僕には無理だと初めからわかっていたから、長めの**30日間**を目指していました。9月20日に日本に到着、ハワイへ帰るチケットは10月21日にしていました。その日までに**東京**に到着できるのか?!もし到着できなかつたら、諦めるか帰りを延期するしかありません。でも結局、4日間の休息日も入れて、なんと**29日間**で達成!!!

本当にいろいろなトラブルにみまわれ、最後の最後まで間に合うかわからない状態でした。でもこれは不満ではありません。大変だったからこそ面白い、大変だったからこそやる意味があったと思います。

そんなトラブル続きの中でも、数えきれないほどやさしい人に出会いました。道に迷った時、何度も何度も通りすがりの人に道を聞いてたくさんの人に助けてもらいました。コンビニやレストランの店員さんも、優しい方ばかり。そして僕のX(旧ツイッター)のフォロワーさんたちにも何度も助けられたし、途中で一緒に歩いてくれた方もいます。そしてご飯をごちそうしてくれた方も!!

とにかく、とにかく、感謝です。みんなの助けがなければこの「東海道チャレンジ」は達成できなかったと思います。

当然のごとく、ゴールの**日本橋**に到着した時は、本当に感動しました。SNSで知り合った、僕のサポーター5人も、日本橋で待っていてくれました。お礼を言って写真や動画を撮り、そして翌日の夜、友人の経営するバーで、打ち上げパーティもできました。多分そのパーティに、僕を応援してくれていた人たち20~30人ほどの人たちが来てくれました。プレゼントを持参してくれた人もいて、本当に感動!!

ありがちなセリフなんだけど、打ち上げパーティも含め、「東海道チャレンジ」をした30日間は本当に夢のような時間でした。大変だったけど、本当にやってよかった…!!と一生の思い出になりました。

**DAY29:ついに日本橋。僕の「東海道チャレンジ」、感動のゴール!!!!!!**

でも、これを今読んで下さっている読者のみなさんは、もしかしたらずっと気になっていることがあるかもしれません…。それは、「そもそもなぜ東海道を歩こうと思ったの?」ではないでしょうか?

実は以前から、このようなチャレンジをやりたいと密かに思っていました。でも常識的に難しいことですよね。飛行機代に30日間のホテル代、食べ物などなど、かなりお金がかかります。何より普通に仕事をしているとなかなか長期で休みを取ることも難しいことです。

でも去年の夏、僕は**「MAJISON」**という**NFT(デジタルアート)プロジェクト**を販売しました。おかげさまでそれは売完できたのですが、でも、それを販売する前に、「盛り上がるように何か面白い企画をやりたいな」と思い、思い付いたことが**「東海道チャレンジ」**だったのでした。盛り上げの為に作戦だったため、今回、チャレンジ中に撮影した動画や写真は、リアルタイムで僕のX(旧ツイッター)に投稿していました。

とてつもなくぶっこんでいて、無謀だと思われる企画だったけど、結果的には大成功!!日本橋に到着した時に撮ってXに投稿した動画は、5万のインプレッションを超え、僕のフォロワーさんたちも、とても楽しんでくれていたようです。

ここでは、僕の旅のエピソードを少ししか紹介できなかったけど、この記事が出る頃までにはおそらく、数時間の長さの「東海道チャレンジシリーズ」の動画を、僕の**「JapanKyo」**というYouTubeチャンネルで公開していると思います。全編英語ですがご興味ある方は、ぜひご覧ください(URLは下記参照)。

また、今回のチャレンジのための資金はどう工面したのか?と、もしかしたら気になっている人もいらっしゃるかもしれません。それについては、日本語のYouTubeチャンネル**「マネー爆弾」**にてお話ししているので、気になる方は、そちらのエピソードをご覧ください。簡単にいうと、ざっと\$7000くらいかかってしまいましたが、ほぼ全部スポンサーからの資金でカバーできました。そしてそのスポンサーの1人、日刊サンハワイのオーナーの小林さん、本当にありがとうございました!

最後まで読んでいただき本当にありがとうございます!今年も色々面白いことをやりたいし、挑戦し続けたいと思います。今年もいい年になるように!!!

- YouTubeチャンネル「JapanKyo」  
www.youtube.com/@japankyonevents/videos
- YouTubeチャンネル「マネー爆弾」  
www.youtube.com/@MoneyBakudan/videos

